

# 深イ～話！

No.151

——「ほほえみを忘れずに。ルンルンでいきましょう」(美輪明宏著)——

この本は、夫婦間の問題や子育て、相続、介護、仕事等の悩みに、美輪明宏が答える人生相談の本です。37人のお悩みに答えています。

【お悩み】 人を信じられず生きる意味も見いだせない 熊本県 三十代

事の始まりは父の金銭トラブルです。

わたしの短大の学費を父が使い込んで、慌てて奨学金を借りたり、祖父母から援助してもらったりしてなんとか卒業しました。

数年後、父が支払っているはずの家のローンが何年間も未払いだったことが発覚し、二百万円近くをわたしの貯金から出したこともありました。さらに、父は自分名義でローンを組んで車を買うことができないため、わたしの車を父に譲り、わたしがもう一台、ローンで車を買うことになりました。今も、なんのためだかわからない四万円を毎月支払っています。

父のこともあり、人を信用できずに疑うことから入る癖がついてしまいました。

人に自分のことを知られたくなくて、人と話すことに疲れて仕事も辞めました。

父がつくった借金の返済に苦労している母を見ると、結婚したいとも思いませんし、人を好きになる気持ちがわからなくなりました。母を守らなくてはと思うのですが、同じことの繰り返しで、もう限界です。

母のために自分は我慢しなくてはいけない、自分のために時間を使うべきではないのだと思うと、なんのために生まれてきたのかもわからなくなり、生きている意味を感じることができません。

また、母からわたしが生まれるときに母が準備していた出産費用も父が使い込み、ミルクを買うお金もなかったとか、父と結婚する前には別の人との縁談があったなどと聞かされ、「わたしは生まれてこなければよかったんだ」と思うようになり、母とも大げんかをしてしまいました。

自分がこの世に生まれてきた意味、人を好きになる気持ちがわかりません。そして、人を信用できません。どうしたらいいのでしょうか？



[回答] 父親をとおして人生の勉強をしたのです。

これまでお父さんを助けてきたつもりが、結果としてあだになってしまいました。困ったときには、だれかがお金を工面してくれる、お父さんにはそのような他力本願の癖がついてしまったのです。

言い方は悪いのですが、世の中をなめているとしか思えません。

あなたは生きる意味がわからなくなるほど、自分の人生をめっちゃめっちゃにされたと思っているわけですから、これからは家を出て一人で生活してはいかがですか？車を買えるくらいですから、あなたにはそれなりの才覚があるはずですよ。

お母さんのことを心配していますが、夫婦のことは子どもにはわかりません。今までずっといっしょにいたということは、捨てきれない腐れ縁のような愛情があるのでしょう。

家を出ることに抵抗があるのなら、今あなたが払っている訳のわからない四万円を家賃だと考えてはいかがでしょう。一人暮らしをすれば四万円よりももっと費用がかかるはずですよ。

最後に、人を好きになる気持ちがわからないと悲観していますが、世の中、お父さんのような男ばかりではありません。悪い人もいればいい人もいる、そのことを教訓として覚えておけば、いつか、心から信頼して好きになれる人に巡り合えるでしょう。

人生の岐路に立たされたとき、感情を捨てて冷静に考える。

わたしはこのことをこれまでたくさんの方々に伝えてきました。それは、新たな時代を迎えようと、住む国が変わろうと、年齢や性別に関係なく、すべての人たちにとって大切なことだからです。

たとえば、難しい問題に直面したときに、感情的になって泣いたりわめいたところで、いつまでたっても問題を解くことはできないでしょう。やけになってお酒を飲んでふて寝してしまっても課題は後回しになるだけです。

いざ覚悟を決めて冷静になって問題に向き合えば、これまでの人生で教わった公式をあてはめられることに気づき、じっくりと順々に解いていけば、だれでもおのずと答えを導き出すことができるのです。